

平成20年2月27日  
経 済 産 業 省  
原子力安全・保安院

## 新潟県中越沖地震による柏崎刈羽原子力発電所への影響に関する 国際原子力機関（IAEA）のフォローアップ調査団報告書の公表について

新潟県中越沖地震による東京電力柏崎刈羽原子力発電所への影響に関して、本年1月28日から2月1日に国際原子力機関（IAEA）のフォローアップ調査が行われたところですが、本日、その報告書が公表されましたのでお知らせ致します。

### 1. フォローアップ調査の概要

目 的：原子力安全・保安院の主要検討項目（耐震安全性評価、設備健全性、防火対策）の検討状況に関する技術的な意見交換及び発電所の視察を行い、得られた教訓を国際社会に発信、共有する

団 員：ジャメ団長（IAEA原子力施設安全部長）をはじめ、耐震分野の専門家等、計13名

日 程：平成20年1月28日（月）～2月1日（金）

（原子力安全・保安院、独立行政法人原子力安全基盤機構（JNES）、東京電力と討議、及び柏崎刈羽原子力発電所においてボーリング調査等を視察）

### 2. 調査報告書の概要

本調査において日本側から良好な協力を受けた旨述べるとともに、調査結果全般として次のような指摘がされています。

- ・前回調査（昨年8月）で発見された事実（安全上重要な機器に顕著な損傷は発見されなかった等）は今回も同様の結果。
- ・前回以降、地震工学、原子力安全に関する著名な機関の参加を得て、非常に多くの質の高い作業が行われており、高い透明性がもたらされている。

個別事項については、別紙をご参照ください。

### 3. 原子力安全・保安院としての対応

当院としては、IAEA調査団による熱心な調査が行われ、調査終了後短期間で報告書がとりまとめられたことを歓迎するとともに、IAEAジャメ部長を始めとする調査団メンバー、IAEA事務局に感謝と敬意を表します。

今後、報告書の内容を精査し、「中越沖地震における原子力施設に関する調査・対策委員会」での議論に反映させるなど、当省の今後の取り組みに活用してまいります。また、ＩＡＥＡが柏崎刈羽地域で開催予定の国際ワークショップなどの場において引き続きＩＡＥＡと協力しつつ、国際的な情報発信・共有に努めていく方針です。

**【本発表資料のお問い合わせ先】**

原子力安全・保安院

企画調整課国際室 八木、名倉

電 話：０３－３５０１－１５１１（内線４８４８）

０３－３５０１－１０８７（直通）

## IAEA柏崎刈羽原発フォローアップ調査団報告書について

平成20年2月27日

原子力安全・保安院

1月28日～2月1日に行われたIAEAフォローアップ調査団の報告書がIAEAより27日未明（ウィーン時間26日）に発表されたところ、調査及び報告書の概要は以下のとおり。

### 1. 調査概要

#### (1) 調査目的

- ・保安院の主要検討項目（耐震安全性評価、設備健全性、防火対策）の検討状況に関する主に技術的な意見交換
- ・前回調査（8月）には見ることはできなかった原子炉内やボーリング調査の状況の調査
- ・上記調査結果からIAEA加盟各国に適用でき得る教訓を抽出・整理し、国際社会に発信・共有

#### (2) 調査団員

ジャメ団長（IAEA原子力施設安全部長）を始め、耐震分野の専門家等計13名（広報担当1名含む）

#### (3) 調査日程

1月28日（月）～30日（水） 原子力安全・保安院、JNES、  
東京電力と議論

31日（木） 柏崎刈羽発電所施設・ボーリング調査視察

2月 1日（金） 全体会合、とりまとめ

### 2. 調査報告書概要

本調査において日本側から良好な協力を受けた旨述べるととも

に、主に以下の点が指摘されている。

(1) 全般的事項

- ・ 前回調査（昨年 8 月）で発見された事実（安全上重要な機器に顕著な損傷は発見されなかった等）は今回も同様の結果。
- ・ 前回以降、地震工学、原子力安全に関する著名な機関の参加を得て、非常に多くの質の高い作業が行われており、高い透明性がもたらされている。

(2) 耐震安全性

- ・ 多数の専門的かつ著名な研究機関等が参加して得られた非常に多くの地質・地震調査の結果を集約し、基準地震動の設定等を引き続き適切に行うことが必要。

(3) 発電所設備の健全性の確認

- ・ 保安院が指示した設備健全性の確認に係る基本方針は適切である。また、それに基づく東電の点検計画は国際社会の参考となるものであるが、東電は目視点検と計算モデルによる評価を組み合わせることで適切に実施すべき。

(4) 防火対策

- ・ 今回の教訓として、原発における防火対策を設計段階で考慮する必要性が認識された。また、発電所で既に多くの改善がなされている。

### 3. 今後の I A E A の取り組み

I A E A としては、今後も引き続き本件の調査を行うとともに、5 月下旬～6 月上旬に柏崎刈羽地域で国際ワークショップを主催する予定。当院としても引き続き I A E A と協力しつつ、国際的な情報発信・共有に努めてまいる所存。